

武蔵野大学大学院通信教育部環境学研究科

小論文過去問題（環境マネジメント専攻）

令和4年度 第1回

以下の二つの問題のうちいずれかを選び、800字以内で回答してください。

(1)先日開催された第26回気候変動枠組み条約締約国会議等(COP26等)では、気候変動の安定化を目指すため、議長国である英国は、「石炭火力の段階的廃止」との合意を目指しましたが、すべての国の賛同を得るに至らず、「石炭火力の段階的削減」という合意で最終的に決着しました。あなたはこの結果をどう評価しますか。あなた自身の考えを踏まえてその評価の理由を含めて記述してください。

(2)プラスチックごみの海洋汚染による海洋生物への影響が世界的な問題となっていますが、この問題にとどまらず、プラスチックの使用は、持続可能な社会づくりの観点から多くの懸念点があります。その問題を含め、あなた自身は、このプラスチック問題をどのように理解し、それに対して、今後どのように対応していくべきと考えるか記述してください。

令和4年度 第2回

次の二つの問題のうちどちらかを選び、800字程度で答えなさい。

①国連が提唱したSDGs（持続可能な発展目標）を実践していこうという動きが内外で広がっています。一方で、気候変動問題や貧困・格差の問題などは、いまだに解決の目途が立っていない状況です。あなたはこのような状況を人類は解決できると思いますか。あるいは困難だと思いますか。あなたの考えを述べ、その理由をできるだけ具体的にあげて論じてください。

②日本の江戸時代は、鎖国政策により、エネルギーや資源の利用が限られ、結果的に持続可能性の高い生産や消費のシステムが社会に広がったと言われています。このような歴史は、現在の持続可能な社会の構築において、参考になると思いますか。あるいはあまり参考にはならないと思いますか。あなたの考えを述べ、その理由をできるだけ具体的にあげて論じてください。

令和4年度 第3回

次の二つの問題のうちいずれかを選び、800字程度で答えなさい。

(1)あなたが理解している「持続可能な社会」とはどのような社会であるかできるだけ具体的に述べてください。その上で、現在の日本、あるいは世界がそのような方向に進んでいると考えるか否かについて述べ、さらに、もし進んでいない、あるいは進んでいても十分ではないと考えた場合、今後とるべき対応策についてあなたの考えを述べてください。

(2)現在、IT技術、バイオ技術、エネルギー技術など多くの分野で急速な技術革新が進んでおり、生産、消費、廃棄などに大きな影響を及ぼしています。これらの技術が「持続可能な社会」の進展に資する可能性と、逆に支障をもたらす可能性の双方について、あなたの関心の高い技術をいくつかとりあげて記述し、今後の望ましい技術の進展のありかたについて論じてください。

令和3年度 第1回

次の問題のうち、どちらかを選び、800字程度で答えなさい。

(1) 持続可能な発展に関し、地球環境の保全と経済成長が両立する「グリーン成長は可能」だとする意見と、地球環境保全と経済成長は両立せず「グリーン成長は不可能」だという意見があります。あなたの考え方に近い意見を選び、なぜそう考えるかその理由を字数の範囲で記述してください。

(2) 現代の子供たちは昔の子供たちに比べて自然離れが進んでいるという調査結果があります。このことについて、①あなた自身の認識、②自然離れが進む原因、③自然離れがもたらす環境保全への影響とその対策、について字数の範囲で記述してください。

令和3年度 第2回

次の問題のいずれかを選び、800字以内で記述しなさい。

(1) 日本のある会社では、「地球環境の保全」と「経済的価値向上」を同時実現することを目指す「同軸型環境経営」という考え方を提唱し実践してきています。これを実現するためにはどのような対策が重要と考えられるか、できるだけ具体的に述べてください。

(2) 持続可能な発展のためには、今後、基本的な資源・エネルギーの使用は、非再生可能資源から再生可能資源に転換していくべき、という考え方があります。それは実現可能と考えるか不可能と考えるか。理由を付してあなたの考えを述べてください。

令和3年度 第3回

次の二つの問題のうち、どちらかを選び800字程度で記述しなさい。

1. 気候変動問題は、人類の生存基盤をも揺るがす、現在最も深刻な地球環境問題とされています。気候変動問題がここまで深刻化した理由について、あなたの考えを述べてください

2. 国連の持続可能な発展目標（SDGs）はじめ、持続可能な社会を目指そうという機運が高まっています。その観点から、今後あなたのライフスタイルの中で最も変えたいと思っていることを出来るだけ具体的に述べてください。

令和2年度 第1回

次の二つの問題のうち、どちらかを選び800字程度で回答しなさい。

(1) 気候変動問題については、地球規模での二酸化炭素の削減が必要とされています。一方で、開発途上国には、「先進国は二酸化炭素を大量に排出し経済発展を遂げてきた。これから経済発展しようとしている開発途上国に排出削減を求めるのは不公平であり、二酸化炭素の削減は先進国が責任をもって行うべきである」という意見があります。そのような意見についてあなたはどのように考えますか。

(2) 現代社会では昔に比べて大量の資源が使われています。このような傾向が続くと、いずれは使える資源が枯渇し、社会が成り立たなくなるのではないかという指摘があります。一方で、相対的に資源が希少になってくれば、市場価格が上がり、使用量が低下するとともに、その資源に代替する資源や技術が出てくるので心配はないという意見があります。そのような意見についてあなたはどのように考えますか。

令和2年度 第2回

次の二つの問題(1)、(2)のうち、どちらかを選び800字程度で解答しなさい。

(1) 最近、「持続可能な発展」を目指すべきとの機運が世界的に高まっています。これに関して、以下の問いに答えなさい。

①あなたが考える持続可能な発展の内容を記述してください。

②それらの内容を含めた全体として、世界は現在、持続可能な方向に進んでいるか、そうではないかについて判断し、その理由についても記述してください。

③持続可能な方向に進んでいないと考えた方は、それを変えるにはどうしたらよいかについてあなたの考えを記述してください。

(2) 最近、プラスチック問題が話題になっています。これに関して、以下の問いに答えなさい。

①プラスチック問題は、環境問題を含めた持続可能な発展の観点から、何が問題であるのか、その内容について記述してください。

②プラスチックは現代社会に広く使われていますが、どのような分野からその使用を減らしていくべきかその事例をあげてください。

③プラスチックに代替するものとしてどのような技術開発やライフスタイルが考えられるかあなたの考えを記述してください。

令和2年度 第3回

図1、図2(別添)の意味するところを簡潔に紹介した上で、持続可能な社会を構築するためにはどのようにすべきだと考えますか。

あなた自身の考えとその理由を述べなさい。(800字以内)

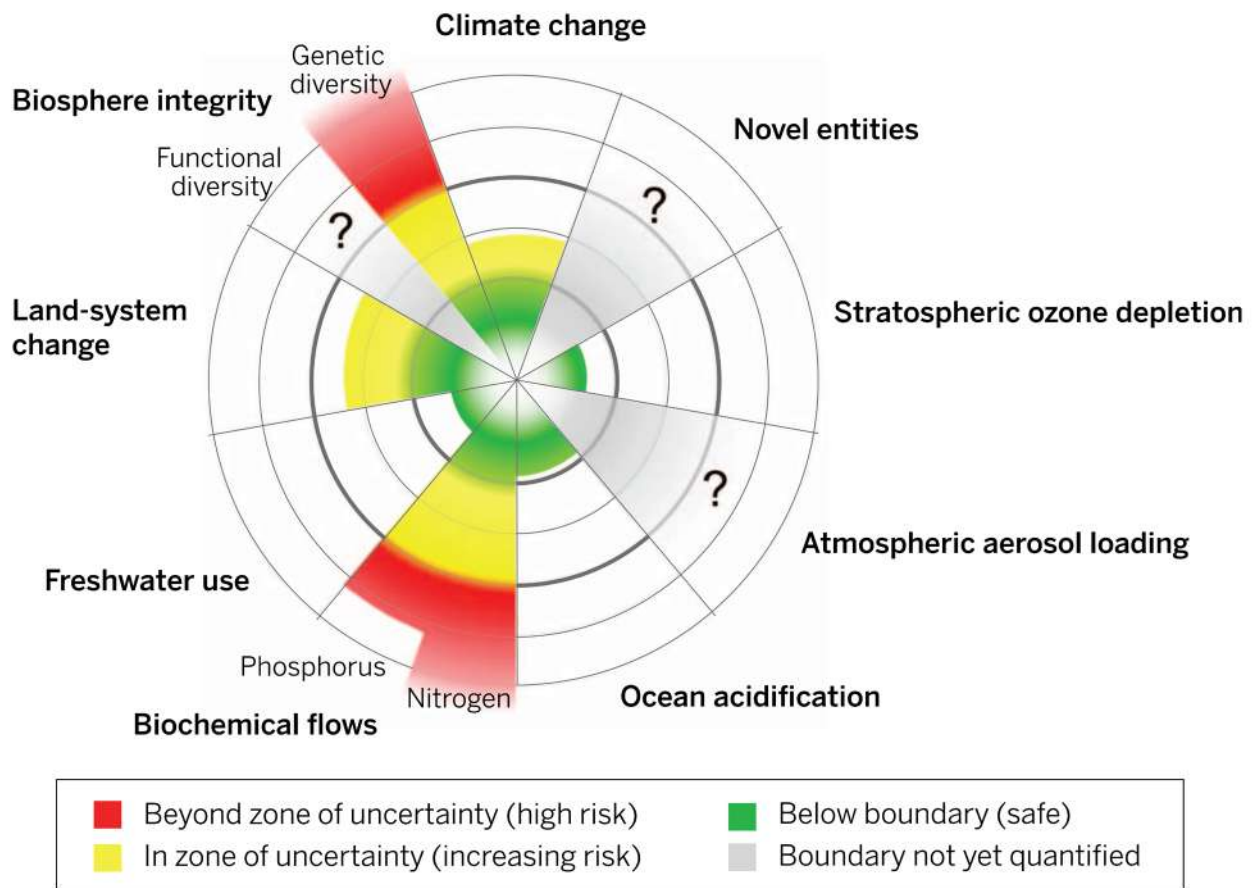


図 1 Current status of the control variables for seven of the planetary boundaries.

出典 : Will Steffen et al. (2015). Planetary boundaries: Guiding human development on a changing planet, Science 330 Vol. 347.

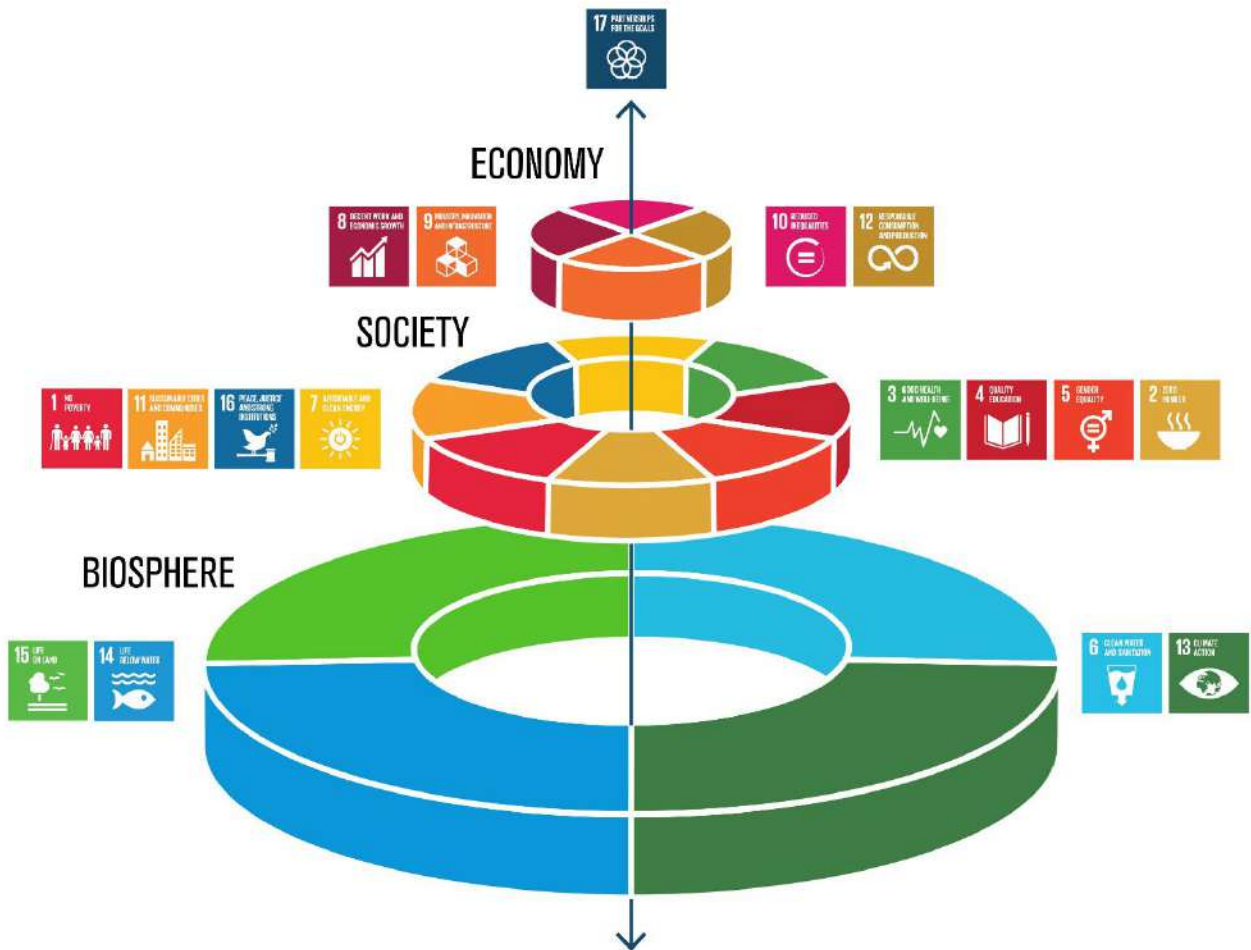


図2 New way of viewing the Sustainable Development Goals and how they are all linked to food.

出典：Johan Rockström and Pavan Sukhdev, Resilience Centre, Stockholm University

<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>